



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社 フェイス

上場取引所 東

コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平澤 創

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者

(氏名) 佐伯 浩二

TEL 075-213-3933

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	31,600	△48.2	1,349	△16.4	1,429	△11.2	6,435	692.2
23年3月期第3四半期	61,061	48.0	1,614	88.1	1,609	107.0	812	41.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 6,732百万円 (498.8%) 23年3月期第3四半期 1,124百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5,605.74	5,603.07
23年3月期第3四半期	707.60	700.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,535	19,401	82.3
23年3月期	32,726	14,544	39.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 19,373百万円 23年3月期 12,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
24年3月期	—	50.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,560	△60.1	1,150	△46.0	1,280	△42.2	6,300	433.1	5,487.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社ウェブマネー
(注) 詳細は、添付資料P.3「当四半期連結累計期間にける重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	1,196,000 株	23年3月期	1,196,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	47,950 株	23年3月期	47,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	1,148,050 株	23年3月期3Q	1,148,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、本日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年の国内の携帯・スマートフォンの契約件数は1億2,000万件を超え、成熟期を迎えております。新製品の発売や環境整備が進んでいるスマートフォンは、平成23年度には年間出荷台数が2,100万台に到達すると予測され、出荷されるモバイル端末の過半数を占めるようになり、今後も需要の増加は続く見込まれております。また、コンテンツ市場においては、様々なモバイル端末の特性を活用したSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やソーシャルゲーム、動画共有サイト等、ユーザーニーズの多様化・複雑化がさらに加速しており、新たなコンテンツ流通のしくみ創りが求められております。

このような環境下において、当社グループは、『マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略（様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造）』のもと、付加価値の高い優良コンテンツを創出し、ユーザーへ届けるための新たなコンテンツ流通のしくみ創りに注力してまいりました。平成23年8月には、音楽、ファッション、映像等を発信する場「Future SEVEN」をオープンし、また、同年9月には、従来にない新しい形で音楽をユーザーへ届けるための新会社を日本コロムビア株式会社と合弁で設立いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したこともあり、前年同期比48.2%減の31,600百万円となり、営業利益は前年同期比16.4%減の1,349百万円、経常利益は前年同期比11.2%減の1,429百万円となりました。また、株式会社ウェブマネーの株式を売却したこと等による特別利益を7,004百万円計上した結果、四半期純利益は前年同期比692.2%増の6,435百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<コンテンツ事業>

「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」と「新たな事業基盤の構築」に努めました。

当社グループでは、優良なコンテンツをあらゆる方法でユーザーに提供する「新・360°戦略」を掲げ、様々な取り組みを強化しております。その取り組みの一環として平成23年8月、当社南青山オフィスの1階に「日本のエンターテインメントを世界に発信していく」というコンセプトのもと、音楽、ファッション、アート、映画、映像等を7ヶ国語で世界中にライブ配信が可能なショールーム「Future SEVEN」を開設いたしました。優秀なアーティスト、クリエイターの作品を発表し、育成するためのリアルな空間として「Future SEVEN」を最大限に活用してまいります。

さらに、平成23年9月には日本コロムビア株式会社と合弁で株式会社フューチャーレコーズを設立し、「Future SEVEN」を活用した音楽・映像作品の企画、制作、プロデュースおよびファンクラブの運営、ライブイベントの制作・管理等を行い、世界に通用する優秀なアーティストの発掘・育成を行ってまいります。また、CDなどのパッケージ販売を中心とした従来のレコード会社と違い、アーティストにかかわる様々な著作物を企画し、アーティストとユーザーをつないでいくことで新たな音楽ビジネスを創出してまいります。

また、平成23年12月にはスマートフォン初心者からアプリケーション開発者まで、幅広いユーザーのあらゆる問題を解決し、アプリを通じて新たなコミュニケーションの場を生み出す、これまでにない画期的なアプリ紹介ポータルサービス「aivie（アイビー）」をプレオープンし、ユーザーの利便性向上に努めました。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高は、着信メロディ事業の減収等により、前年同期比14.2%減の4,824百万円となりましたが、営業利益はコスト削減等が寄与し前年同期比34.2%増の790百万円となりました。

<電子マネー事業>

電子マネー事業の主力であるオンラインゲーム市場は拡大を続け、電子マネー「WebMoney」の決済額は、順調に推移いたしました。

なお、電子マネー事業を営んでおりました株式会社ウェブマネーについて、同社株式を平成23年7月に売却し、第2四半期連結会計期間から連結除外しているため、同事業の業績は第1四半期連結累計期間と同額となっております。

以上の結果、電子マネー事業の売上高は、前年同期比52.7%減の25,717百万円となり、営業利益は前年同期比53.6%減の430百万円となりました。

<その他>

その他の事業については、ポイントカードシステム事業収入等により、売上高は前年同期比1.8%増の1,058百万円となり、営業利益は前年同期比24.4%増の125百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の分析)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて9,191百万円減少し、23,535百万円となりました。主としてのれん償却額の計上によりこのれんが減少し、さらに連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したことにより、受取手形及び売掛金、投資有価証券等が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて14,048百万円減少し、4,133百万円となりました。主として法人税等の計上により未払法人税等の増加があったものの、連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したことにより、支払手形及び買掛金、利用原価引当金等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,857百万円増加し、19,401百万円となりました。配当金の支払いや、連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したことによる少数株主持分の減少があったものの、主として四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。これにより、自己資本比率は42.9ポイント増加して、82.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成23年8月10日に修正いたしました数値に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、株式会社ウェブマネーは株式を売却したため連結の範囲から除外し、株式会社フューチャーレコーズは新たに設立したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,001,893	13,490,544
受取手形及び売掛金	8,356,029	1,142,539
有価証券	339,676	439,266
商品及び製品	3,110	1,532
仕掛品	1,038	5,792
原材料及び貯蔵品	8,892	8,488
繰延税金資産	344,125	278,514
その他	368,465	250,540
貸倒引当金	△49,258	△30,041
流動資産合計	21,373,972	15,587,177
固定資産		
有形固定資産	2,893,215	3,039,505
無形固定資産		
のれん	435,363	49,182
その他	371,487	395,708
無形固定資産合計	806,851	444,890
投資その他の資産		
投資有価証券	7,405,341	4,377,149
その他	396,115	175,085
貸倒引当金	△148,792	△88,156
投資その他の資産合計	7,652,664	4,464,077
固定資産合計	11,352,731	7,948,473
資産合計	32,726,703	23,535,650
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,948,110	165,242
短期借入金	399,984	399,984
未払法人税等	390,631	1,618,931
利用原価引当金	4,835,100	—
ポイント引当金	230,979	218,703
賞与引当金	77,608	78,181
その他	882,358	574,851
流動負債合計	16,764,771	3,055,895
固定負債		
長期借入金	1,133,368	833,380
繰延税金負債	183,204	134,564
退職給付引当金	91,824	104,555
その他	8,909	5,361
固定負債合計	1,417,306	1,077,860
負債合計	18,182,078	4,133,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	6,556,212	12,877,079
自己株式	△651,377	△651,377
株主資本合計	12,831,189	19,152,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,011	243,316
為替換算調整勘定	△201,693	△21,958
その他の包括利益累計額合計	66,317	221,357
少数株主持分	1,647,118	28,480
純資産合計	14,544,625	19,401,894
負債純資産合計	32,726,703	23,535,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	61,061,099	31,600,210
売上原価	52,954,473	26,448,442
売上総利益	8,106,626	5,151,767
販売費及び一般管理費	6,491,968	3,802,482
営業利益	1,614,658	1,349,285
営業外収益		
受取利息	5,723	16,918
受取配当金	4,701	5,560
有価証券利息	34,449	12,236
持分法による投資利益	59,918	63,605
雑収入	5,100	5,601
営業外収益合計	109,892	103,923
営業外費用		
支払利息	28,032	12,439
為替差損	50,924	10,208
貸倒引当金繰入額	30,018	—
雑支出	5,811	1,472
営業外費用合計	114,786	24,119
経常利益	1,609,764	1,429,088
特別利益		
投資有価証券売却益	19,479	28,795
関係会社株式売却益	2,528	6,899,538
その他	5,077	76,665
特別利益合計	27,085	7,004,999
特別損失		
固定資産処分損	4,897	14,734
投資有価証券評価損	14,750	—
関係会社株式売却損	—	79,565
持分変動損失	11,537	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,253	—
その他	37	—
特別損失合計	48,476	94,299
税金等調整前四半期純利益	1,588,372	8,339,788
法人税等	455,307	1,762,736
少数株主損益調整前四半期純利益	1,133,065	6,577,051
少数株主利益	320,702	141,379
四半期純利益	812,362	6,435,672

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,133,065	6,577,051
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△17,184	△24,197
持分法適用会社に対する持分相当額	8,401	179,237
その他の包括利益合計	△8,782	155,040
四半期包括利益	1,124,282	6,732,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	803,580	6,590,712
少数株主に係る四半期包括利益	320,702	141,379

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ	電子マネー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,625,789	54,395,439	60,021,228	1,039,871	61,061,099	—	61,061,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	222,691	2,200	224,891	—	224,891	△224,891	—
計	5,848,480	54,397,639	60,246,119	1,039,871	61,285,991	△224,891	61,061,099
セグメント利益	589,185	929,081	1,518,266	100,728	1,618,994	△4,336	1,614,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ポイントサービス提供事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,336千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ	電子マネー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,824,701	25,717,225	30,541,927	1,058,282	31,600,210	—	31,600,210
セグメント間の内部売上高又は振替高	57,619	400	58,019	—	58,019	△58,019	—
計	4,882,321	25,717,625	30,599,947	1,058,282	31,658,229	△58,019	31,600,210
セグメント利益	790,763	430,774	1,221,537	125,349	1,346,887	2,398	1,349,285

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ポイントサービス提供事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,398千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成23年7月に従来、電子マネー事業を行ってございました株式会社ウェブマネーについて、所有株式の全てを売却し、連結子会社から除外しております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「電子マネー事業」において18,161,901千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項ありません。